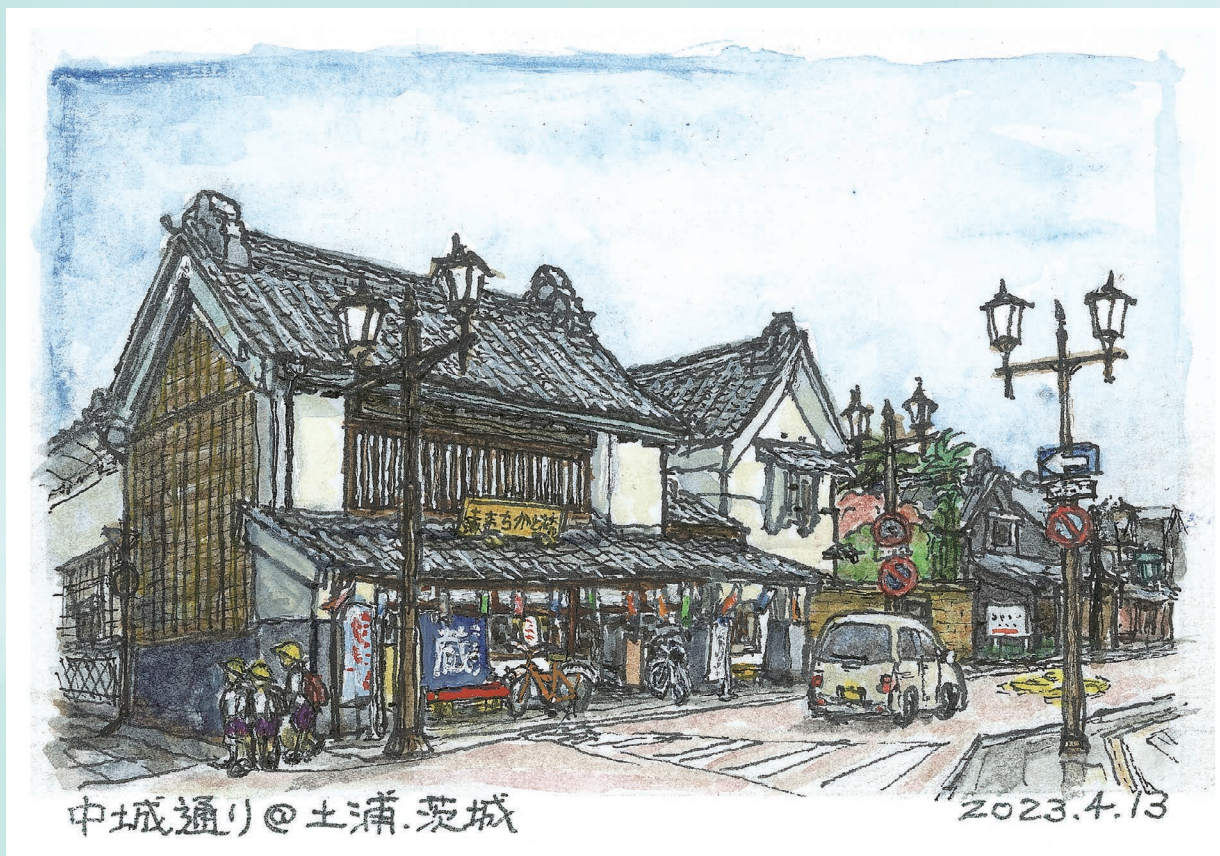


茨城いのちの電話

つくば（相談電話）
029・855・1000



水戸（相談電話）
029・350・1000



2023年5月
第107号

特集：家族 その5 大森家の子どもたち …	2～4
公開講座を聴いて ……………	5
フリーダイヤル受信状況 ……………	5
ご支援ありがとうございます ……………	6～7
受信状況 ……………	8

水戸街道の宿場町、そして霞ヶ浦の水運の中心であった土浦は江戸時代から商業も盛んで、中でも中城通りはその中心地としてにぎわいを見せていました。今では、かつての呉服店「大徳」を改装したまちかど蔵をはじめ、市民交流や観光の拠点となっています。

大森家の 子どもたち

大森 久美



我が家の家族は、2月現在、私たち夫婦のほか、令和3年4月に児童相談所（以後児相）から専門里親として委託された高2の女子C子と、児相から一時保護で委託された小4の男児、小2の女児の兄妹です。

何もなければC子と夫婦の3人家族で生活していたのですが、昨年の9月から子どもの動きが次々ありました。9月には高1の女子が家出をしたということで、夫と相談して預かりました。この子は母親とうまくいかず、里親として委託されたことがあります。それを皮切りに10月には、保護者から虐待を受けて家出を繰り返している小学6年生の男児が一時保護所に行く予定だと知人から相談を受けました。彼は、運動会と修学旅行を今の学校でやりたいと言うので、その間、我が家で預かりました。学校もとても協力的でした。彼は「必ずここへ帰って来るから」と言い残して、一時保護所に行きました。10月には以前から決まっていた市役所からの依頼で、母親の入院期間中に小5の女子をショートステイで預かりました。小6の子が去った日には、保護者から虐待を受けた中1の男児を児相から一時保護で委託されました。夫は「里母（筆者）が疲れているから、断ろう」と言いましたが、「行くところが無いから、我が家に打診が来たんでしょ。だから頑張りましょう」と引き受けました。マスクが外せない子でしたが、3日目には外していました。保護者と話し合って、彼は家に帰ることができました。時々、「ご飯を食べに行きたい。悩みがあるから聴いて」と会いにきます。

それから2月には現在一緒に暮らしている兄妹達がやってきました。3月に入り、兄妹は一時保護所に行きました。9月から3月まで我が家に来た子ども達の指揮を取るのがC子で、まるでちいママです。遊び、食事、風呂、就寝に掛け声

が響きます。自分が育った施設で指導員さんから言われたことが大きいようでした。お陰で私は『優しい久美さん』でいることができました。今も、母親から言葉の虐待を受けている高1の女子が来ています。

我が家は里親家族です。血縁関係のない子どもと一緒に、来る者は拒まず精神で、24年間、常にだれかしらそうした子どもたちと一緒に過ごしてきました。

今年の元旦には、私たちが最初に委託をされた、今は37歳になるA子が横浜から年始に来てくれました。4歳から18歳まで家族として暮らし、現在23歳になるB男も来ていたので、A子は大喜びで「あのモンチッチのようだった子が素敵になって見違えたわ。義姉弟や義姉妹に正月早々会えるなんて嬉しい」と素直に喜んでくれました。私も「そうか！義理の兄弟なんだ」と嬉しく思ったものです。

つたないながらも原稿依頼を引き受けたのは、里親活動がだいぶ知られるようになったとは言っても、まだまだ関心を持って下さる方が少ないのと、自分の責任ではないにも関わらず、親元から離れて暮らさなくてはならない子どもの現状を知って欲しいと常々思っていたからです。

ここで簡単に、里親制度について説明をしておきたいと思います。この制度も2、3年前から以前とは変わってきました。

里親には4つの種類があります。また、6人まで養育できるファミリーホームがあります。

1 養育里親 養子縁組は希望せず、長期の場合は18歳になるまで養育をします。数週間や1年以内の短期間の委託もあります。

2 専門里親 虐待・非行・障害など特別なケアが必要な子どもを預かります。養育里親の経験が3年以上あり、専門的な研修を受けます。

3 養子縁組里親 保護者のいない子どもや、家庭での養育が困難で実親が親権を放棄した場合に養子縁組をして親になります。

4 親族里親 両親が死亡又は行方不明などの場合に祖父母やきょうだいが里親になるもの。

我が家は養育里親の専門里親で、子どもが家族になります。

県の委託と市のショートステイ、県の一時保護所、そしてボランティアとしてやらせていただい

茨城県における里親登録数（2023.1月現在）

種 類	登 録 数	委託里親数	委託児童数
養育里親	160組	48組	57名
養育里親 + 養子縁組里親 *注	109組	27組	33名
養子縁組里親	68組	3組	3名
親族里親	17組	16組	21名
合 計	354組	94組	114名
ファミリーホーム	6か所	36名	24名

*注 養育里親でも養子縁組里親でも可能な里親

ていますが、子どもに対する気持ち、対応はどの場合も同じです。専門里親なので、ほとんどの子どもは被虐待児です。養育なので養子にするのではなく、家庭環境が整ったら、お家にお返しするか、自立することを目的にしています。賛否はあるでしょうが、名前も実名を使っています。

我が家の里親記録

2人の息子の手も離れかけた頃、広報誌で里親募集を見かけ、夫が「女の子を養育したい、可愛いだらうな」と言い出したのが、里親になるきっかけでした。当時もう中年は過ぎていたので、引き受ける子どもが大学卒業時に定年になるようにと小学校の高学年か中学生の女の子と決めました。養育手当が出るとは思っていませんでした。

里親に登録したのは1997年11月でした。里親として子どもを待ちました。里親会にも入会して、先輩の里親さんから研修や情報を頂きました。

1998年、中2の女子A子が家族になったのを皮切りに、それから24年、ほとんど里子との生活をして来ました。今まで31人の子どもが家族になりました。一番長かったのは、4歳から18歳まで14年間一緒に暮らした男児B男です。多くは2年から3年間、共に生活をする中学生、高校生でした。どうしてか思春期に惹かれる私がいいます。その間にも一時保護の子どもも引き受けました。ちなみに

A子は小4から不登校で、このまま家に居たら駄目になると、中学1年の時に自分で児相に連絡して我が家に来ました。B男は父親からひどい虐待を受けているのを病院で見つけられ、家庭で見守って欲しいと我が家に来ました。半年位は近くで名前を呼ぶと、立ったまま固まって半日は動きませんでした。後日そのことが話題になった時、「何を言っても叩かれると思うからじっとしていた」と話しました。小学校入学前に帰る予定が高校を卒業してから家に帰りましたが、また近くに越して来ました。生活も生き方もきちんと出来、頼りになります。里父が大好きです。

B男の例を挙げるまでもなく、虐待は子どもの心と成長に大きな悪影響を与えます。わが家の子どもたちも心身に悪影響を受けています。子どもの数は少なくなっていますが、コロナ禍等の影響や様々な背景から、虐待事例は増えています。

被虐待児はその根元の生育環境が影響しているためか愛着の形成ができにくく、自己肯定感が低く、対人関係が上手く作れずに心身の健康に影響を及ぼすことが多いです。

我が家の家族になる子ども達も「どうして?」「なぜ?」と思うことがたびたびありました。これまで31人の子どもたちと達と生活を共にしましたが、一人ひとり抱えているものは違いました。

茨城県の児童虐待の現状（令和3年） 児童虐待相談対応件数 3743件

虐待の種類		経 路		虐待者		年 齢	
身体的	880件	警 察	42.9%	実 父	47%	3歳～就学前	23%
心理的	2363件	近隣・知人	9.1%			小学生	36%
性的	45件	家族・親族	8.6%	実 母	44%	中学生	15%
ネグレクト	455件	学 校 等	7.8%			高校生	7%

短期で委託された子どもの環境を記します。

以前、3人の姉・弟・妹が家賃を払えず、落着くまでと家族になりました。姉の着ている制服はボロボロで、直しに出しました。お風呂に入っても下着は替えない、用事を頼むと弟にやらせる。心を開かない思春期まっただ中でした。弟は知的に低く、家出を繰り返す5年生でした。毎日20km離れた学校に送迎時、車中で掛け算を練習しますが、いつも3の段で終わってしまいました。宿題も夫が教えていましたが、あまりに時間がかかるため学校に相談したところ、毎日嬉しそうに持って来るので続けて欲しいと言われ、頑張りました。1か月我が家にいましたが、起こしてトイレに行かせた1日だけ夜尿をしませんでした。睡眠を取らせようとおむつをして朝にシャワーをしました。家ではスーパーの袋を履いて寝ていたと話していました。5歳になる妹は金髪の子で、風呂・洗髪が嫌いでしたが、洗髪をすると気持ちが良いことが分ると、毎日催促するようになりました。知的な刺激も何も無かったようですが、名前やお絵かきをすると楽しく、身につけていきました。帰る時は私の手をしっかり握って離さなかったのを覚えています。家の環境も悪く、母親は彼氏ができて出て行き、家には委託された3人の父親と、母の連れ子で3人の姉にあたる子が住んでいました。私は、この子を普通の環境で温かいかかわりで養育したいと思いました。今でもあの時児相に話せば良かったと思う事例です。今どこにいるか分かりません。

変わってきた里親制度

里親にとって、フォスタリング機関や里親支援専門相談員は強い味方です。

令和4年度より、茨城県里親養育包括支援(フォスタリング)事業が立ち上げられました。多忙な児相に代わって、県知事より委託を受けた民間機関が里親普及・里親研修・里親委託・里親訪問などで里親家族を支援する制度です。

今まではほとんど夫婦や里親同士で養育をしていましたが、現在は支援委員が定期的に訪問して下さったり、フォスタリングの研修で情報を得ることができます。チーム支援です。

現在家族のC子は最強の愛着問題を抱えている子です。生後まもなく、実母と別れ義母に養育され、両親から虐待を受け、小2でファミリー

ホームに行きましたが、上手く行かずに4年生で施設に入所。高校から大森の家族です。依存が強く、対人関係が上手くいかず、不登校があり、実父・祖母ともすぐ喧嘩をします。全部他人が悪く、聞く耳を持たないので私は聴き役です。このC子には以前はなかったチーム支援で関わり、里親も助かっています。児相のヒヤリング・中3までいた施設のカウンセラーのセラピーと厳しい指導員の生活指導・里親専門支援相談員の進路に関わる情報提供・フォスタリング機関の方の行事参加でのふれあい・高校での相談、指導、そして里親とでC子のことを見守っています。

口調も強く、思ったことは全部口にしなければ気が済まないの、学校でも一人になってしまったようです。チーム支援の効果があったのか登校できるようになりましたが、一人での行動が多いようです。強くなっています。ひとつ問題が片付くと、すぐ次の問題で悩みますが、自分を見つめ直し、要石をしっかり押さえて欲しいです。

「子どもにとっての最善の利益」ということが言われていますが、自分自身の言動など、反省することは多いです。途中で帰った子どもも一人いて、今でも最善だったかと思うことがあります。が、我が家の良いところは自由に意見が言えること、まあいいか精神で息が抜けるところ、かなと。

拙文を読んでくださったみなさまに、私からひとつ提案があります。初めから里親というのは不安に思われるかもしれませんが、「日曜の家」のような、親せきや知り合いの家に遊びにきてもらうような感覚で活動を始めることもできます。土日や長期の休みに子どもと一緒に楽しい時間を持てたら、子どもも夢が膨らみますし、里親の側も温かいものをもらえます。これがきっかけとなって、里親制度に興味を持ち、お仲間になっていただける方が現れることにつながればなによりうれしく思います。

*なお、里親制度研修会の資料・フォスタリングほまれの里親研修会の資料を多く引用させて頂きました。ありがとうございます。

茨城県の里親制度について詳しく知りたい方は以下をご参照ください。

(茨城いのちの電話広報委員会)

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/hokota/sodan/satooya.html>

公開講座

『ひきこもりの高齢化と対話的支援』(斎藤 環 先生) を聴いて

茨城いのちの電話主催の公開講座が昨年 12 月 11 日に開催されました。講師は筑波大学医学医療系社会精神保健学教授の斎藤環先生です。先生は具体的な事例や資料を挙げながら、8050 問題とも呼ばれるひきこもりの現状と、当事者が社会復帰できるための必要な支援方法について分かりやすく話して下さいました。私たち相談員にとっても考えさせられることの多かった講座です。相談活動に携わっていると、ひきこもり当事者と思われる方からの電話相談がある時もあります。かけ手は言葉数が少なく、その切れ切れの言葉の奥に重苦しい気持ちが感じられました。何か力になりたいがどうしたらよいのだろう、何も力になれないようなもどかしい思いにかられたこともありました。

ひきこもりの状態は、しばしば著しい長期化を伴うといいます。先生はひきこもりの状態の人のことを「たまたま困難な状況にある」人といわれましたが、自力で社会参加を果たすことは難しいようです。また家族は、ひきこもり当事者に共感をともなう語りかけを行うことが必要とのことですが、家族にも余裕が無いことが多く、そのメンタルケアも重要となります。当事者の苦しみははかりしれませんが、その家族も重くつらい状況

なのです。わたしたちは、とかく家族内の問題ととらえてしまいがちですが、ひきこもり問題を家族だけに押しつけてしまうことはとうてい無理な話でしょう。一方、家族と当事者との間には距離感が大切ようで、家族は「親しい友人の子を預かっている」と思うとよいという言葉が印象的でした。

ひきこもり当事者とその家族は、社会との接点が無くなり膠着状態となっているのが問題ということです。ひきこもり家族を取り巻いているのは私たち社会であるとなれば、まずは苦しんでいる当事者やその家族を見守りながら、必要な時に手を差し伸べられる共感が求められます。いま私たち社会に何かできることはないか、あらためて考える時にきているのでしょうか。(M.O.)



フリーダイヤル受信状況		男 (自殺傾向)	女 (自殺傾向)	その他 (自殺傾向)	受信件数
2022 年	10 月 10 日	27 (6)	22 (2)	カウントなし	49 (8)
	11 月 10 日	26 (6)	22 (4)	カウントなし	48 (10)
	12 月 10 日	16 (2)	24 (5)	カウントなし	40 (7)
2023 年	1 月 10 日	23 (1)	14 (5)	1 (0)	38 (6)
	2 月 10 日	16 (2)	23 (6)	0 (0)	39 (8)
	3 月 10 日	28 (5)	25 (7)	0 (0)	53 (12)
22 年 10 月～ 23 年 3 月合計		136 (22)	130 (29)	1 (0)	267 (51)

毎日フリーダイヤル受信状況		男 (自殺傾向)	女 (自殺傾向)	その他 (自殺傾向)	受信件数
2022 年	10 月	81 (15)	134 (39)	カウントなし	215 (54)
	11 月	88 (25)	110 (39)	カウントなし	198 (64)
	12 月	102 (25)	99 (29)	カウントなし	201 (54)
2023 年	1 月	96 (24)	114 (30)	1 (1)	211 (55)
	2 月	107 (18)	106 (34)	1 (1)	214 (53)
	3 月	97 (24)	115 (40)	1 (0)	213 (64)
22 年 10 月～ 23 年 3 月合計		571 (131)	678 (211)	3 (2)	1,252 (344)

誰もが誰かとつながっていられますように



イラスト かしわざ まきこ

むかし、理科の授業で「食物連鎖」という言葉を習った
三角形の山が何段かに区切ってあって、
一番下には植物、その上に草食動物、そして肉食動物、
一番上には人間の絵
こどもの時は、そうか、人間は地球上で一番偉いんだ、と思った

大人になって、まちがっていたと気がついた
植物も、草食動物も、肉食動物も、人間も、だれが偉いわけではない
みんなだれかを助けて、だれかに助けられている
だれが欠けても生きていられない

それはひとつひとつでも同じで
みんなだれかを助けて、だれかに助けられている
だれかとつながっていると感じられるとき、生きていこう、と思える

素

あなたも 相談員になりませんか。

電話相談員養成講座の研修参加に関する
問合せは、常時受け付けております。
事務局へお問い合わせください。

(事務局)

つくば TEL 029-852-8505 (平日 9時~17時)

FAX 029-852-8355

水戸 TEL 029-244-4722 (平日 12時~16時)

FAX 029-350-1055

ホームページ <https://www.iid.or.jp>

受信状況

1985年6月1日~2023年3月末現在

総受信件数

990,191 件

うち当期受信件数

(2022年10月1日~2023年3月末現在)

6,689 件

男 3,444 件 女 3,221 件 その他 24 件

(自殺傾向 男 317 女 347 その他 0 計 664)

〈編集後記〉

大森さまから里親の体験を通して、家族の在り方について、考えさせられるお話を頂きました。私事でありますが、病弱な両親と一緒に家内と4人で、7年前に掛かりつけの病院の近くである現住所に引越して来ました。4年前に父親を病院で、去年は母親を自宅で看取りました。家族が減るという事は大変寂しいものです。仕事の都合で、70代・80代・90代の方にご縁を頂く事が多いですが、一人暮らしの方が大半で、しかも以前より体力が落ちて来たと感じられると不安に思います。健康で長生きして貰いたいと思うこの頃です。(M.I.)

社会福祉法人
茨城いのちの電話

発行人：幡谷浩史 編集：茨城いのちの電話広報委員会 表紙絵：岡崎祐一 題字：長野加与
事務局：〒305-8691 茨城県筑波学園郵便局私書箱60号 TEL **029-852-8505**
ホームページ：<https://www.iid.or.jp> FAX **029-852-8355**

この広報紙は、共同募金からの助成金で作りました。

